

【証券コード：6728】

決算説明会資料

2014年度（2014年7月～2015年6月）



2015年8月13日
株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値：	単位未満四捨五入
比率：	百万円単位で計算後、単位未満四捨五入
会計期間の表現：	
2Q（累計）	：第2四半期連結累計期間
2Q	：第2四半期連結会計期間

2014年度連結業績概要

2014年度連結業績概要

2015年度連結業績予想

中期経営計画の進捗

- 受注高、売上高ともに前年度比増加。受注高はFPDを中心に4Qに増加し、修正予想を上回る。
- 営業利益は前年度比減少したが、①売上高が予想を上回り、②低下を見込んだ利益率は小幅低下にとどまり、③修正予想で見込んだ一部海外子会社の関税等追徴も発生しなかったことから、修正予想を上回る。
- 当期純利益は、前年度計上した子会社株式・不動産売却益等の特別利益25億円の剥落により減少。但し、修正予想は上回る。

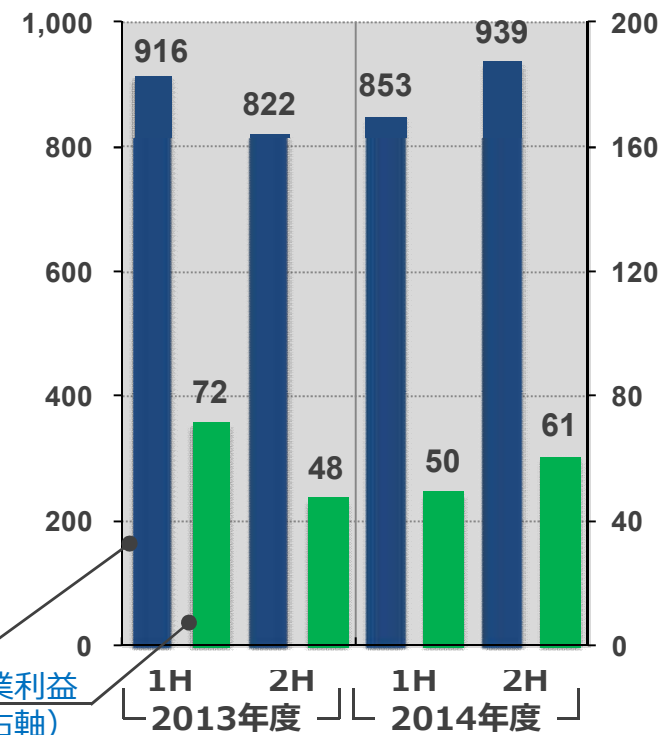
【単位：億円】

売上高と営業利益の推移（半期毎）

	(参考) 2013年度	当初予想 ※1	修正予想 ※2	2014年度 実績	前年度比	修正予想比
	受注高	1,698	1,700	1,760	1,827	129 (+8%)
期末受注残高	672	622		730		
売上高	1,739	1,750	1,750	1,792	53 (+3%)	42 (+2%)
営業利益	120	90	95	111	-9 (△7%)	16 (+17%)
率	6.9%	5.1%	5.4%	6.2%		
経常利益	134	85	105	125	-9 (△7%)	20 (+19%)
率	7.7%	4.9%	6.0%	7.0%		
当期純利益	115	65	70	89	-27 (△23%)	19 (+27%)

※1 2014年8月公表値

※2 2015年5月公表値



売上高
(左軸)

営業利益
(右軸)

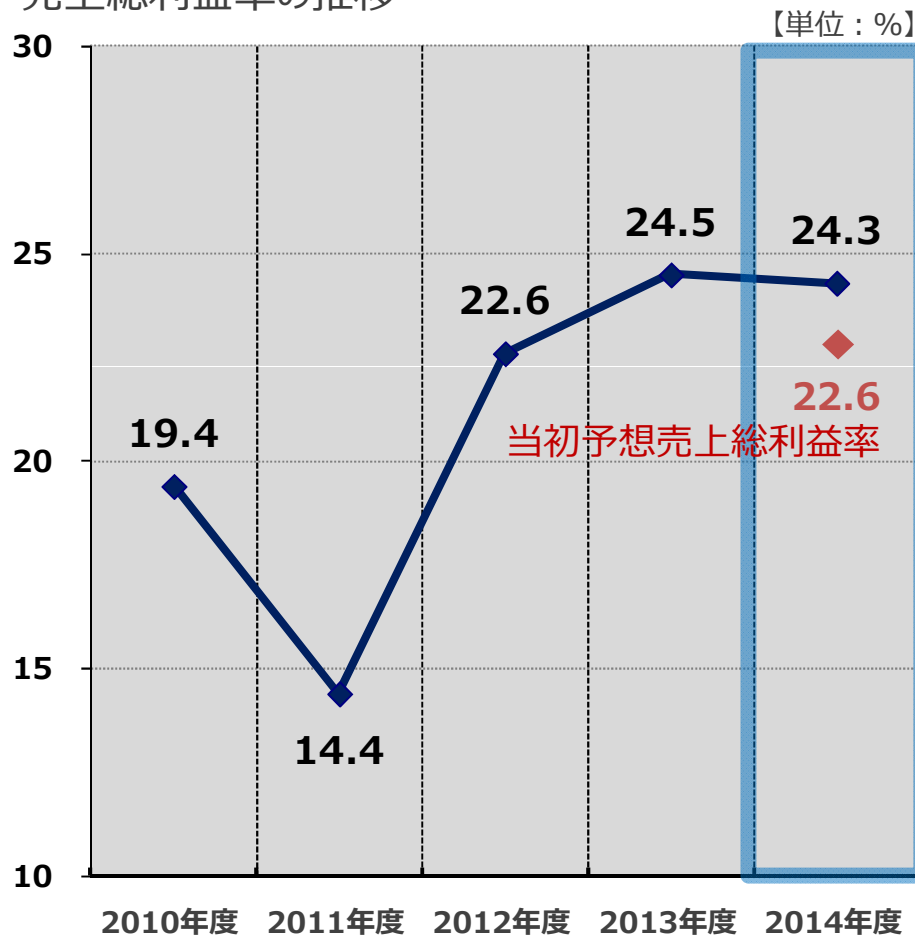
2014年度連結業績概要 (利益率の推移)

2015年度連結業績予想

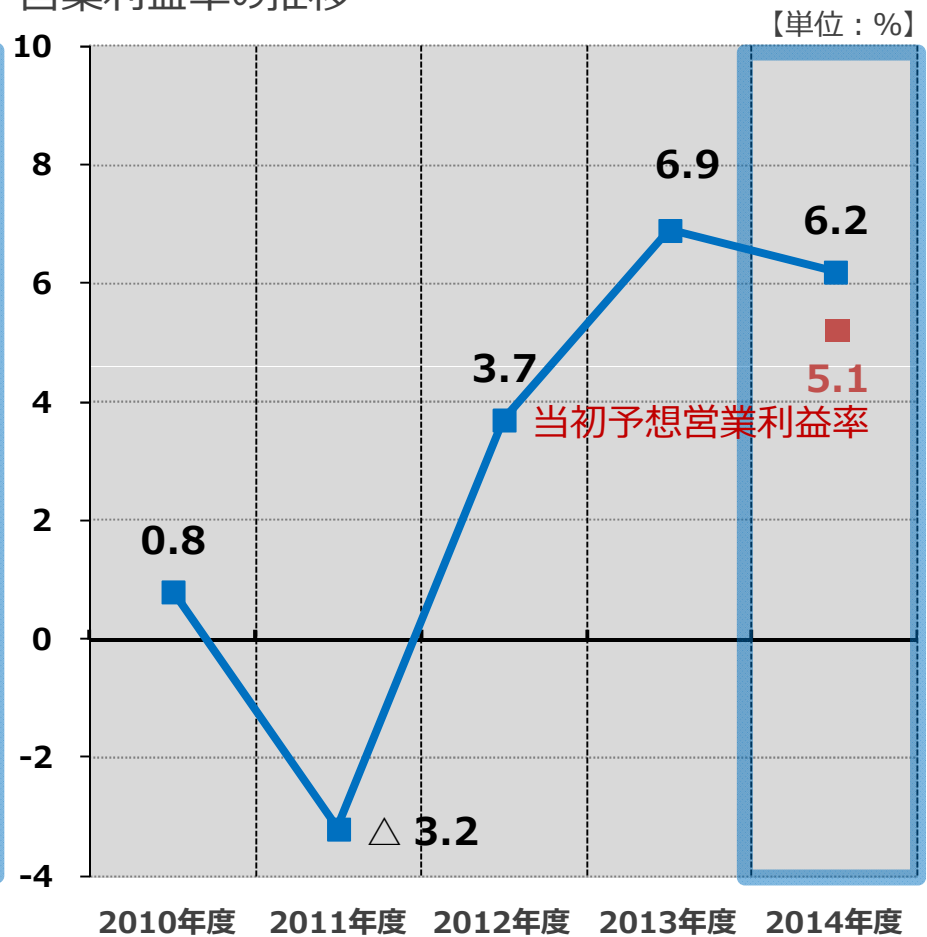
中期経営計画の進捗

当初は利益率低下を見込んでいたが、製造コスト削減効果等により低下幅は小幅にとどまる。

売上総利益率の推移



営業利益率の推移

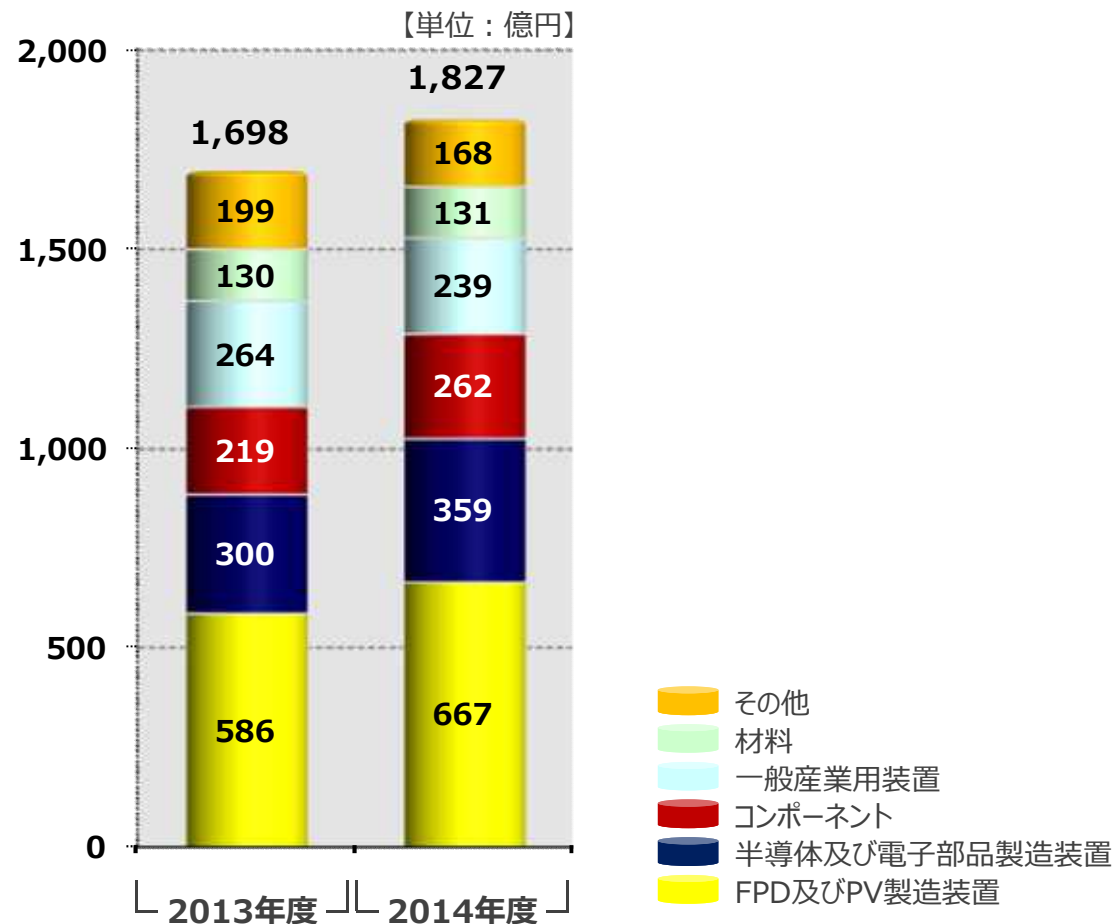


2014年度連結業績概要 (品目別受注高の実績)

2015年度連結業績予想

中期経営計画の進捗

FPD及びPV製造装置は下期に中小型向け液晶ディスプレイの投資が活発化し、前年度比増加。モバイル機器向けメモリや高機能電子デバイス向けの投資が好調に推移し、半導体及び電子部品製造装置、コンポーネント等も前年度比増加。

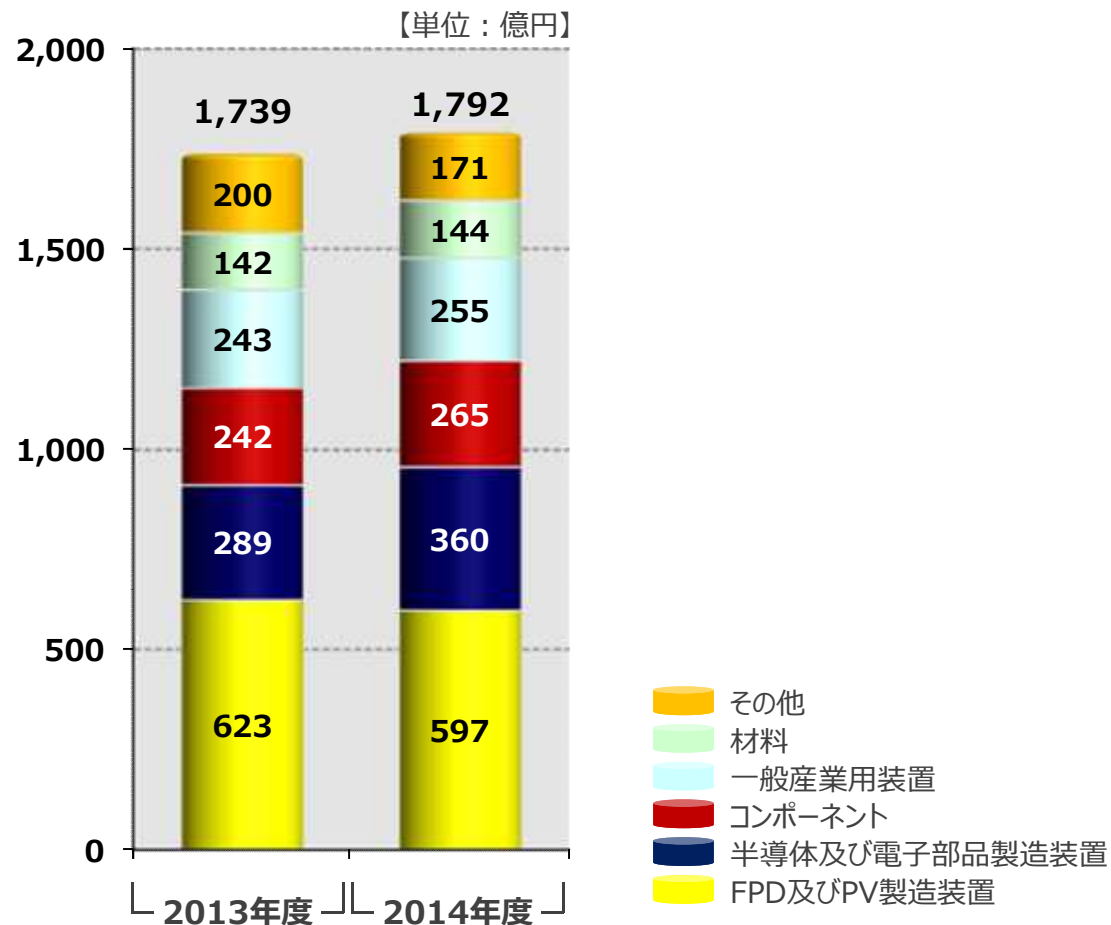


2014年度連結業績概要 (品目別売上高の実績)

2015年度連結業績予想

中期経営計画の進捗

半導体及び電子部品製造装置、コンポーネント、一般産業用装置、材料は前年度比増加。FPD及びPV製造装置は、今年度1Qの一時的な受注減少の影響により、売上貢献が遅れ前年度比減少。



2014年度連結業績概要 (連結貸借対照表)

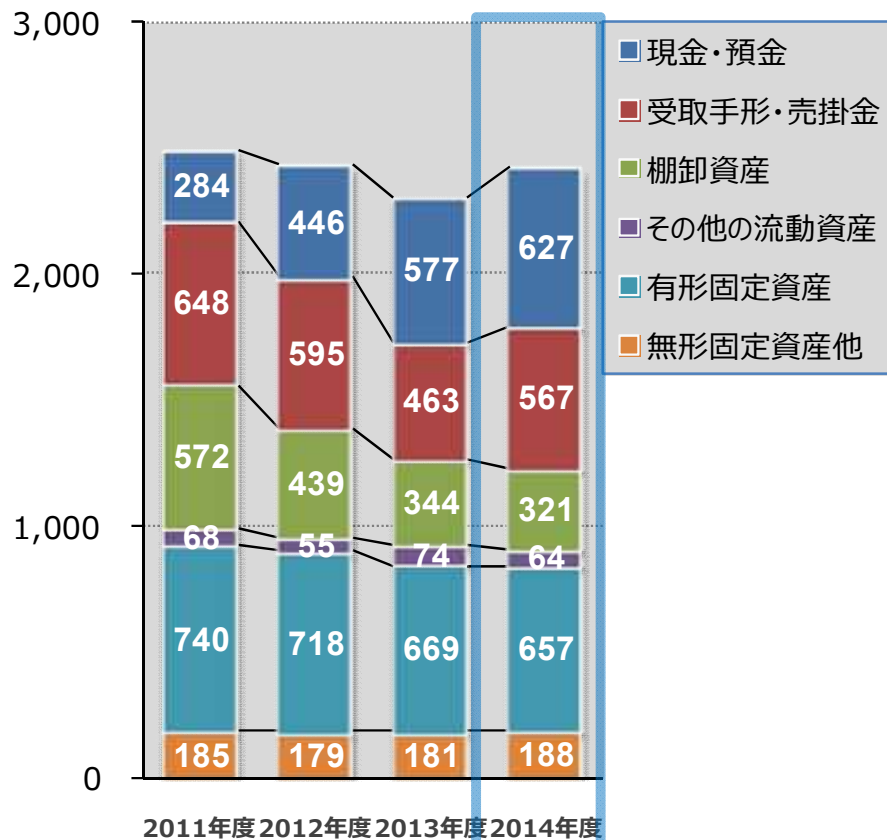
2015年度連結業績予想

中期経営計画の進捗

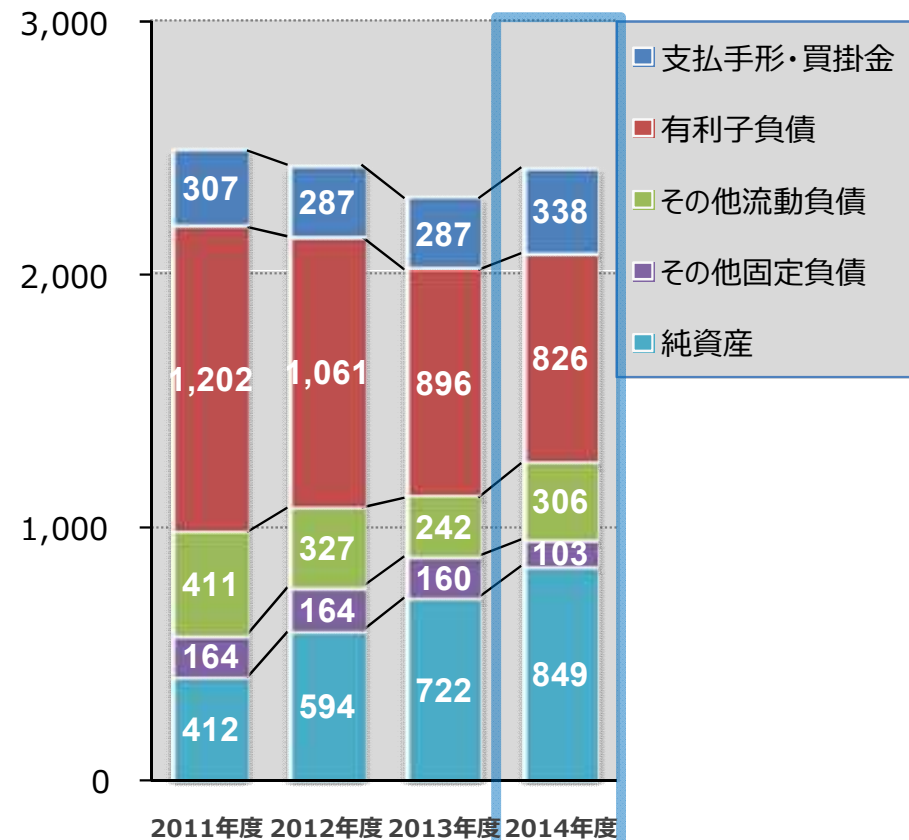
- 足元の売上高増加により、資産側では受取手形・売掛金が増加、負債側では支払手形・買掛金、その他流動負債が増加。他方、棚卸資産は減少。純資産が増加。
- 結果、有利子負債が減少する中、現金・預金が増加。

資産の部

【単位：億円】



負債・純資産の部



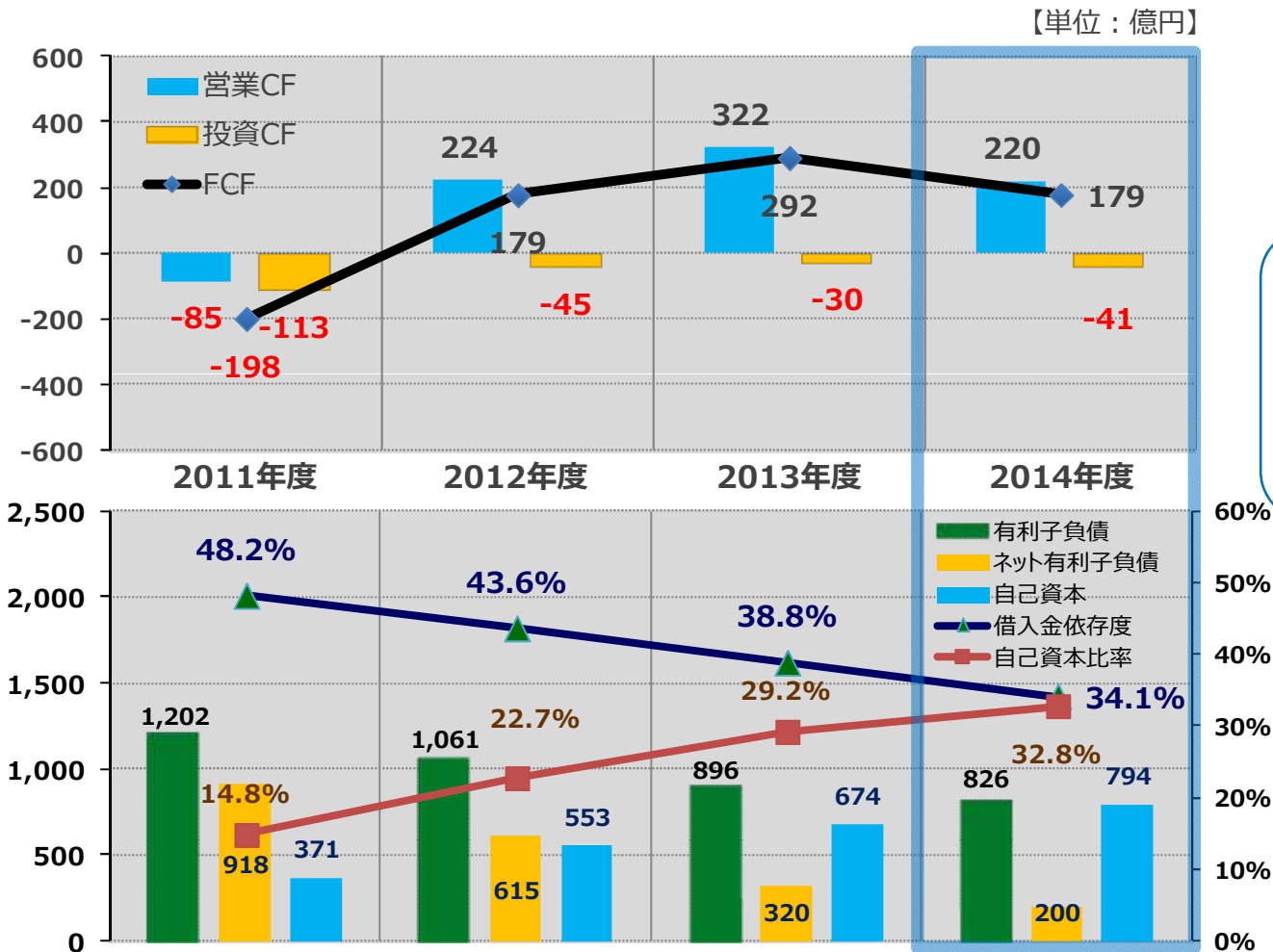
2014年度連結業績概要 (キャッシュ・フローと有利子負債の実績)

2015年度連結業績予想

中期経営計画の進捗

フリー・キャッシュ・フロー179億円を確保（直近3ヶ年累計650億円）

自己資本比率ならびに借入金依存度は徐々に改善。



2015年7月優先株式全額償還後
 自己資本 : 675億円 ※
 自己資本比率 : 29%
 ※ 2015年6月末時点残高から
 償還分等を控除して計算

| 優先株式の償還について

優先株式の推移

2012年9月	発行 (150億円)
2014年11月	現金償還 元本 50億円 (残高 100億円)
2015年7月	現金償還 元本100億円 (残高 0)

| 普通株式の復配について

残存する優先株式の全額現金による償還を実施 (2015年7月3日)

⇒ 普通株式について復配の目処がついたものと判断し、

1株当たり10円の配当を予定。

(2015年9月下旬の定時株主総会に付議予定)

2015年度連結業績予想

2015年度連結業績予想

2014年度連結業績概要

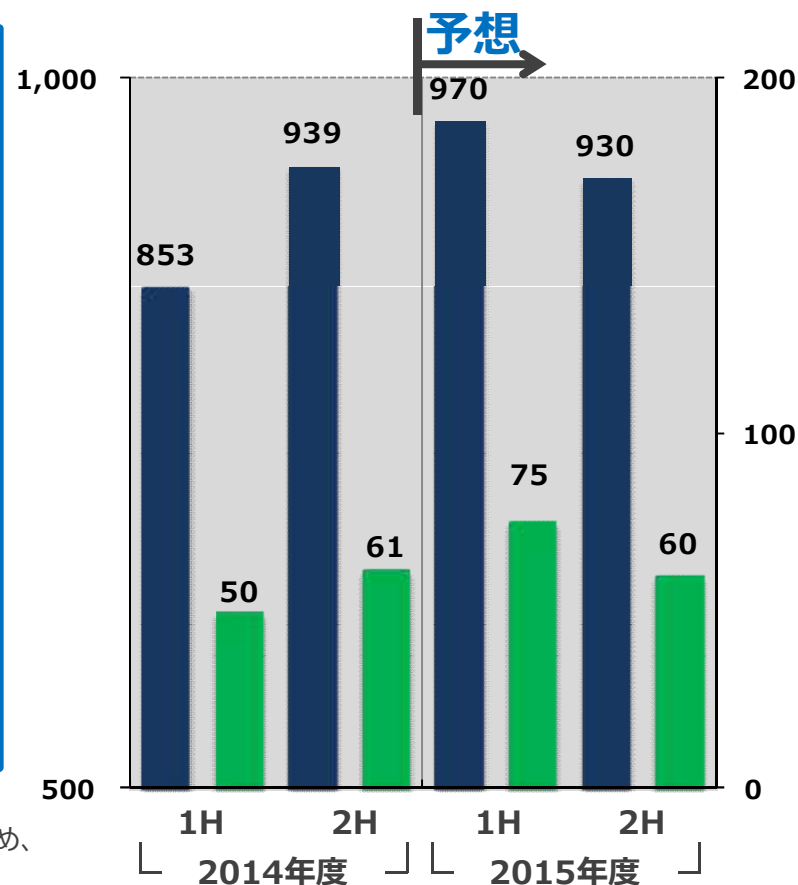
中期経営計画の進捗

- 2015年度、受注高・売上高予想は現中期経営計画から変更なし。営業利益・経常利益・当期純利益は現中期経営計画を上回る予想。
- R&D費用等の増加はあるが、売上高の増加が寄与し、営業利益は前年度比21%の増加予想。

【単位：億円】

売上高と営業利益の推移（半期毎）

	2014年度 実績	2015年度予想		
		2Q (累計)	通期	前年度比
受注高	1,827	990	1,900	73 (+4%)
期末受注残高	730	750	730	
売上高	1,792	970	1,900	108 (+6%)
営業利益	111	75	135	24 (+21%)
率	6.2%	7.7%	7.1%	
経常利益	125	70	125 ※2	0 (+0%)
率	7.0%	7.2%	6.6%	
当期純利益 ※1	89	55	95	6 (+7%)



※1 2015年度については、親会社株主に帰属する当期純利益

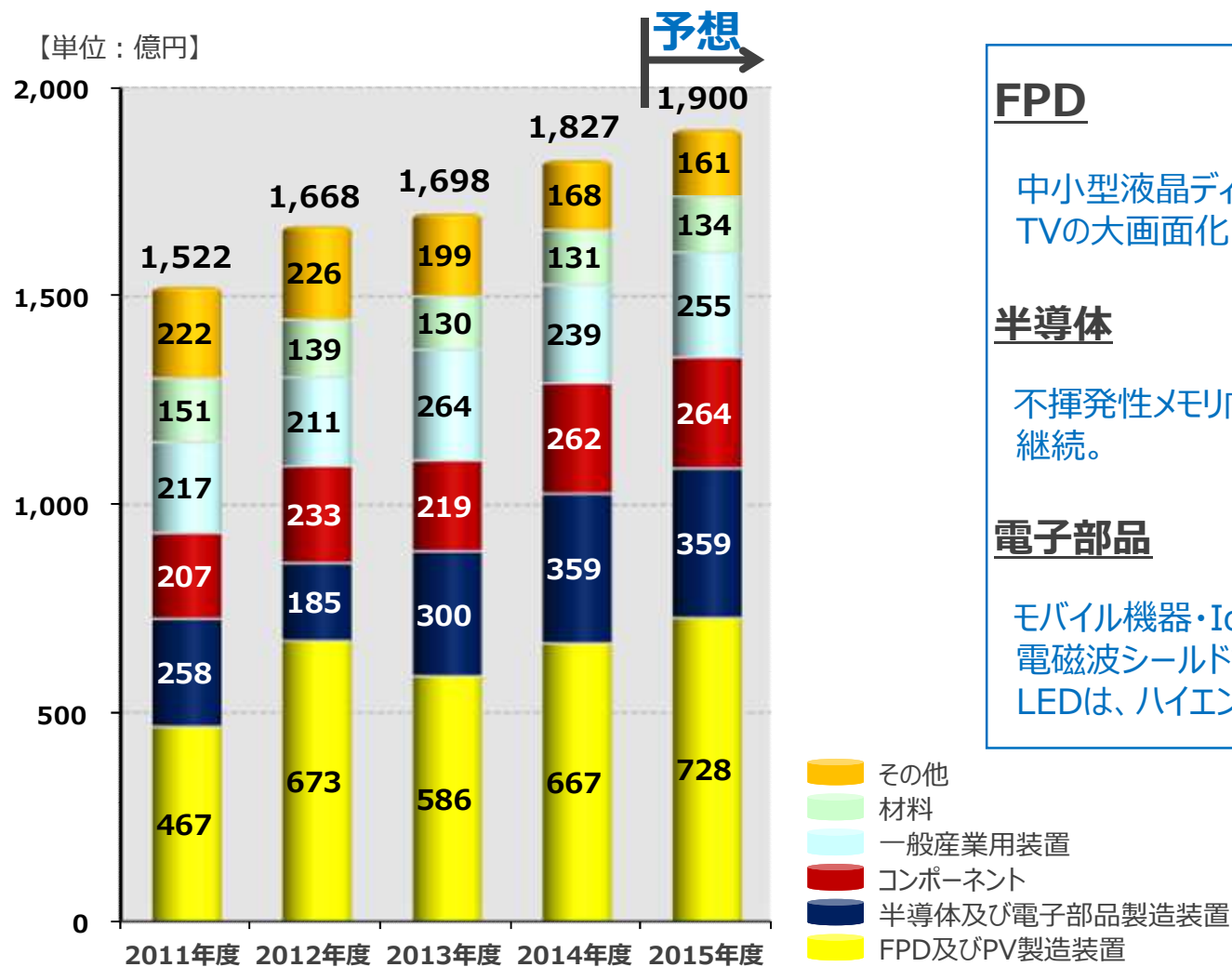
※2 為替差益、材料部門の在庫売却益等、営業外収益の前年度比減少を見込むため、経常利益は横ばい見込み

2015年度連結業績予想 (品目別受注高予想)

2014年度連結業績概要

中期経営計画の進捗

FPD及びPV製造装置は前年度比大幅増加。



FPD

中小型液晶ディスプレイ向け投資が中心。
TVの大画面化・高精細化投資も継続。

半導体

不揮発性メモリ向け・3D-NAND向け投資が
継続。

電子部品

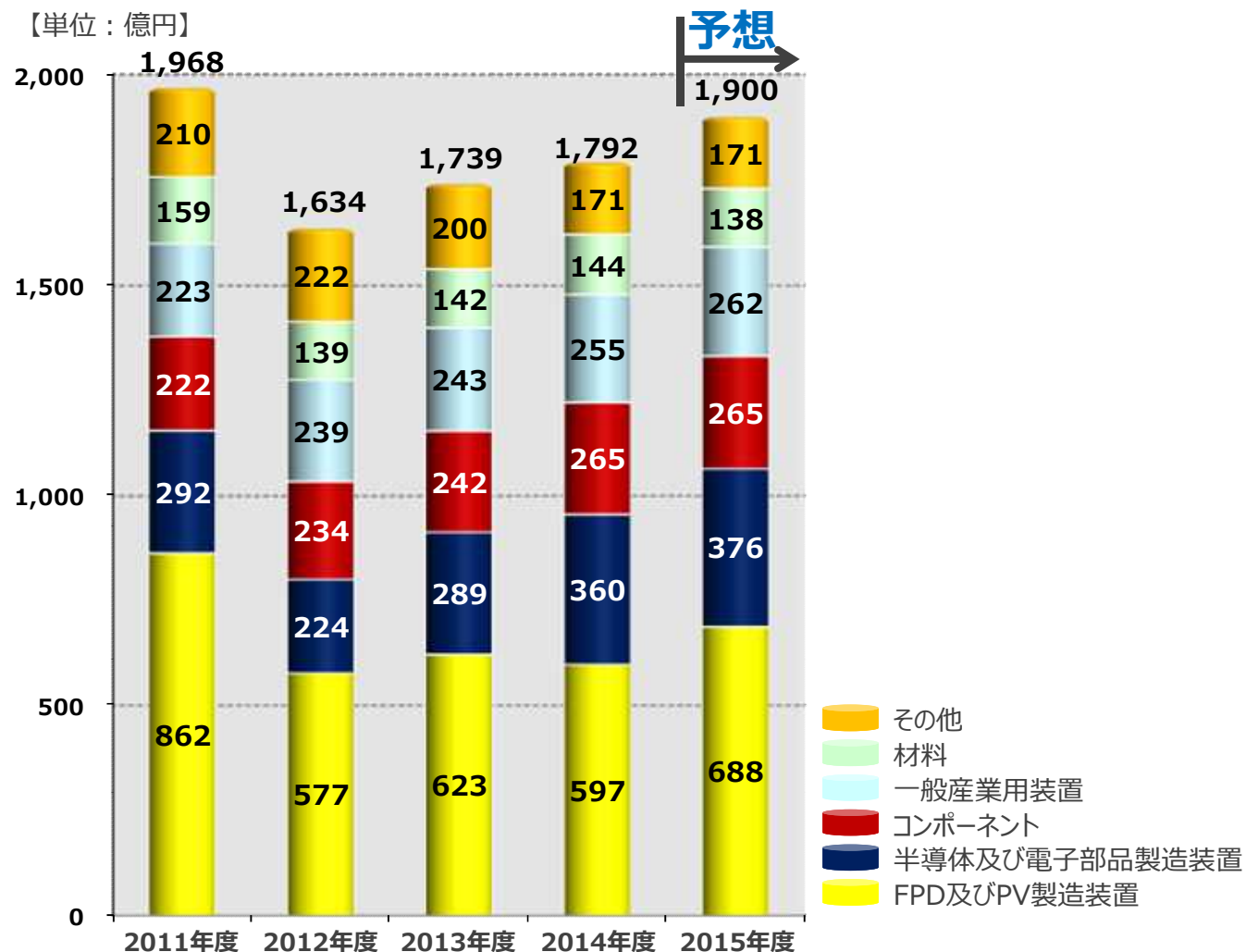
モバイル機器・IoT向け通信デバイス・
電磁波シールド等の投資が継続。
LEDは、ハイエンド品向け投資を見込む。

2015年度連結業績予想 (品目別売上高予想)

2014年度連結業績概要

中期経営計画の進捗

FPD及びPV製造装置は中小型向け・テレビ用液晶ディスプレイ製造装置が寄与し、14年度比増加を見込む。半導体及び電子部品製造装置は通信デバイス向け等が増加見込み。



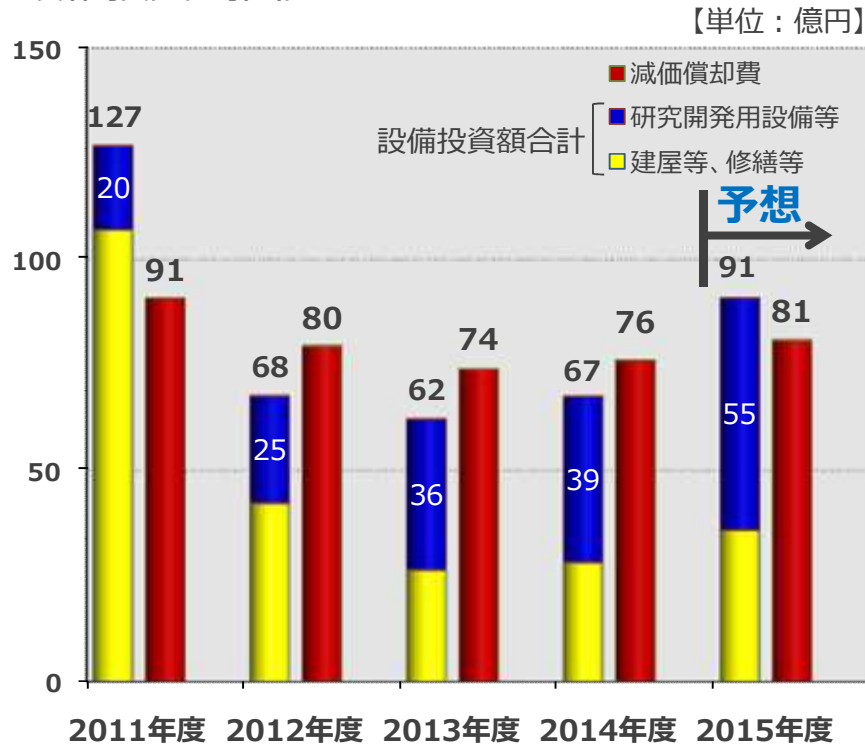
2015年度連結業績予想 (設備投資・研究開発費の推移・予想)

2014年度連結業績概要

中期経営計画の進捗

研究開発用設備投資、研究開発費は引き続き増加予想。

設備投資の推移・予想



研究開発費の推移・予想



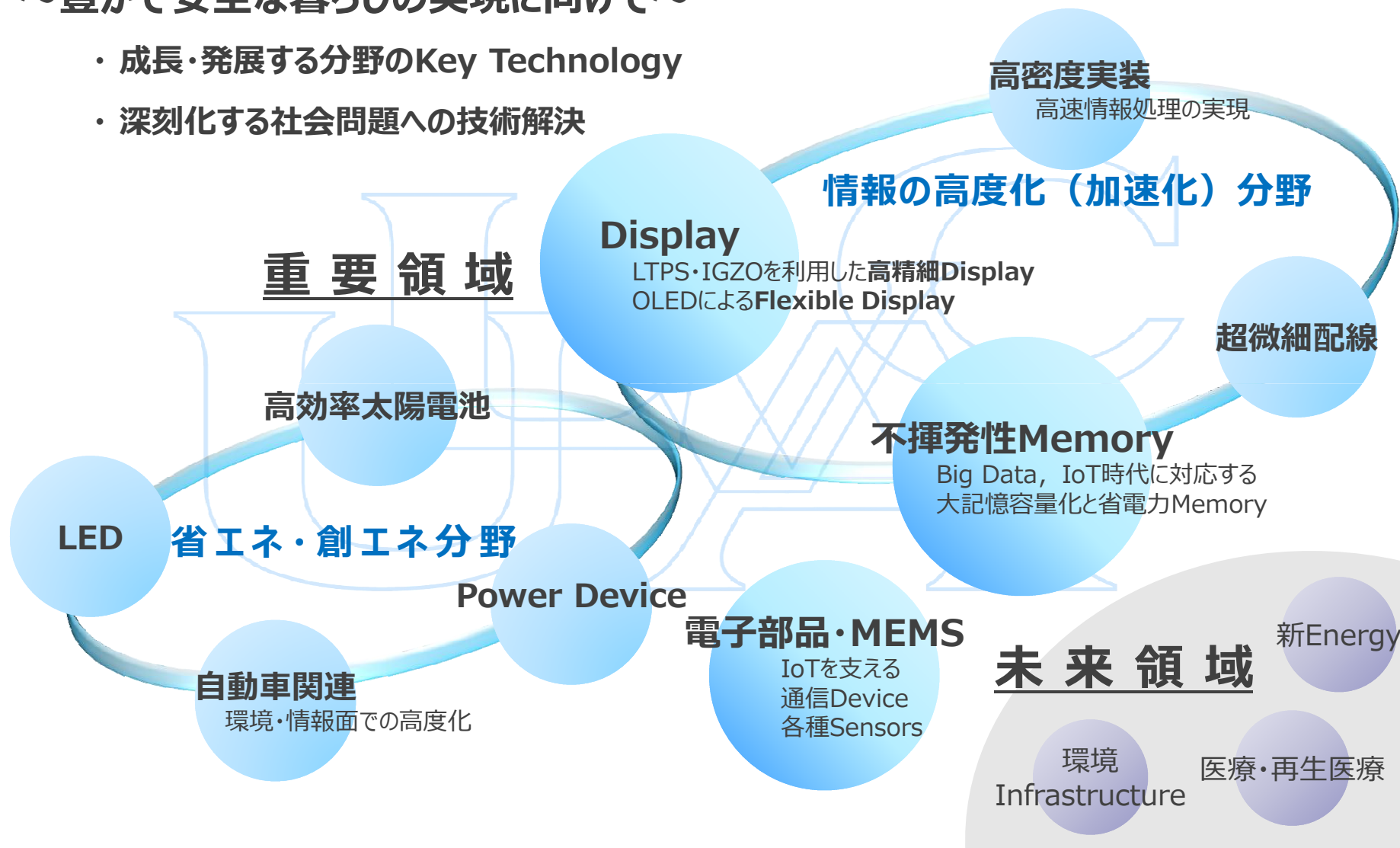
2015年度連結業績予想 (開発体制の強化)

2014年度連結業績概要

中期経営計画の進捗

～豊かで安全な暮らしの実現に向けて～

- ・ 成長・発展する分野のKey Technology
- ・ 深刻化する社会問題への技術解決



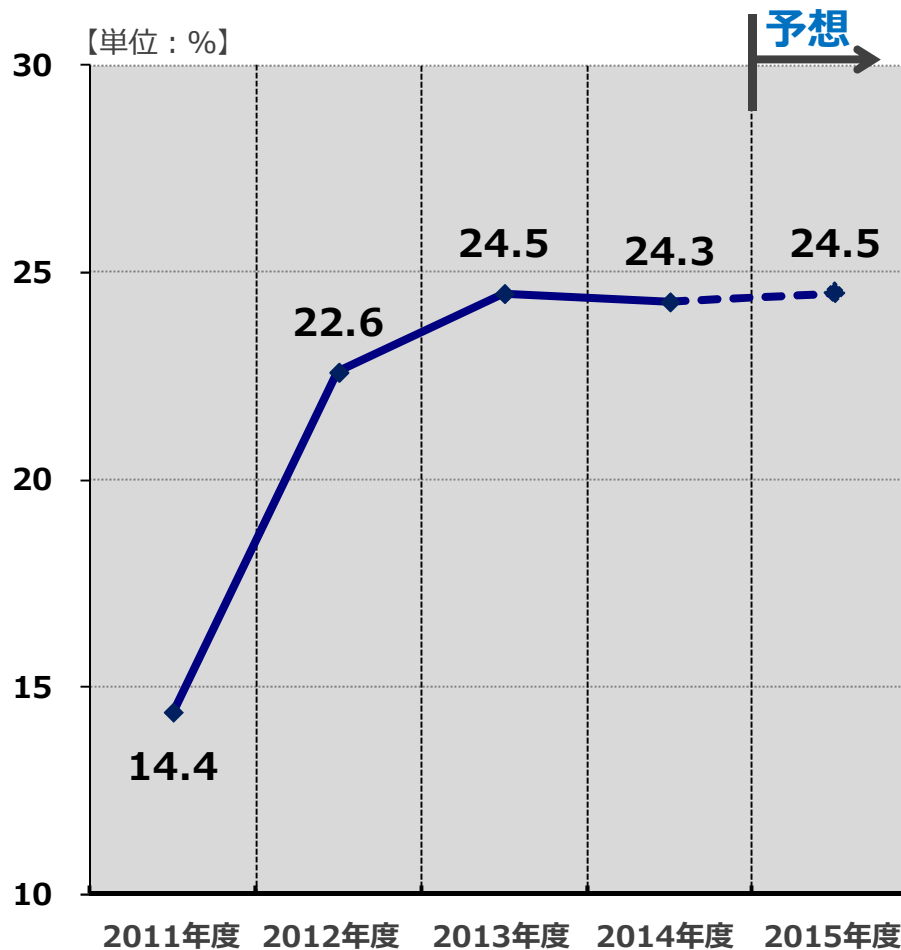
2015年度連結業績予想 (利益率の推移・予想)

2014年度連結業績概要

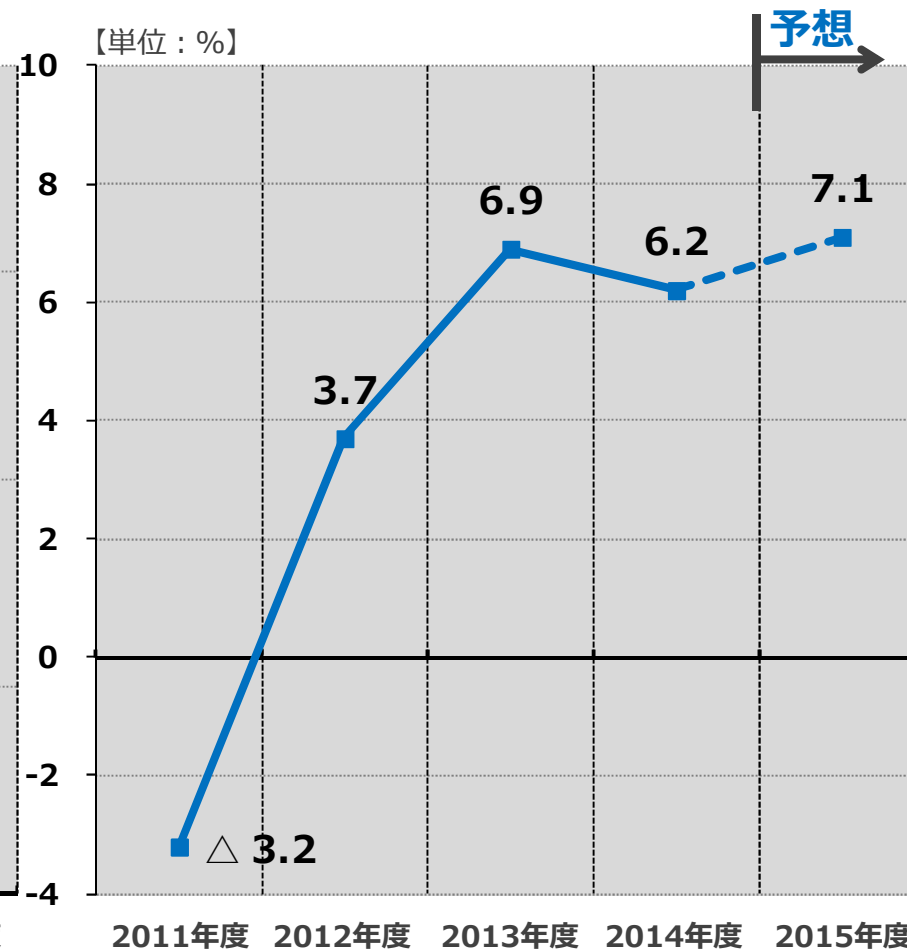
中期経営計画の進捗

売上増加と製造コスト削減等により、営業利益率は7.1%に上昇を予想。

売上総利益率の推移



営業利益率の推移



| 2015年度配当予想について

今後の研究開発投資や財務基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、
2015年度業績予想、配当性向等を総合的に勘案

⇒ 2015年度配当は20円増配し30円の予想

	2014年度 予定	2015年度 予想	
1株当たり配当	10円	30円	20円増加
配当性向	5.8%	15.6%	9.8ポイント増加

中期経営計画の進捗

- 現中期経営計画1年目（2014年度）は計画を上回る実績。
- 2015年度、受注高・売上高予想は現中期経営計画から変更なし。営業利益・経常利益・当期純利益は現中期経営計画を上回る予想。
- 2016年度目標は変更なし。

【単位：億円】

	2014年度 計画	2014年度 実績	2015年度 予想	2016年度 目標
受注高	1,700	1,827	1,900	2,000
受注残高	622	730		
売上高	1,750	1,792	1,900	2,000
営業利益	90	111	135	160
率	5.1%	6.2%	7.1%	8.0%
経常利益	85	125	125	150
率	4.9%	7.0%	6.6%	7.5%
当期純利益 [※]	65	89	95	110

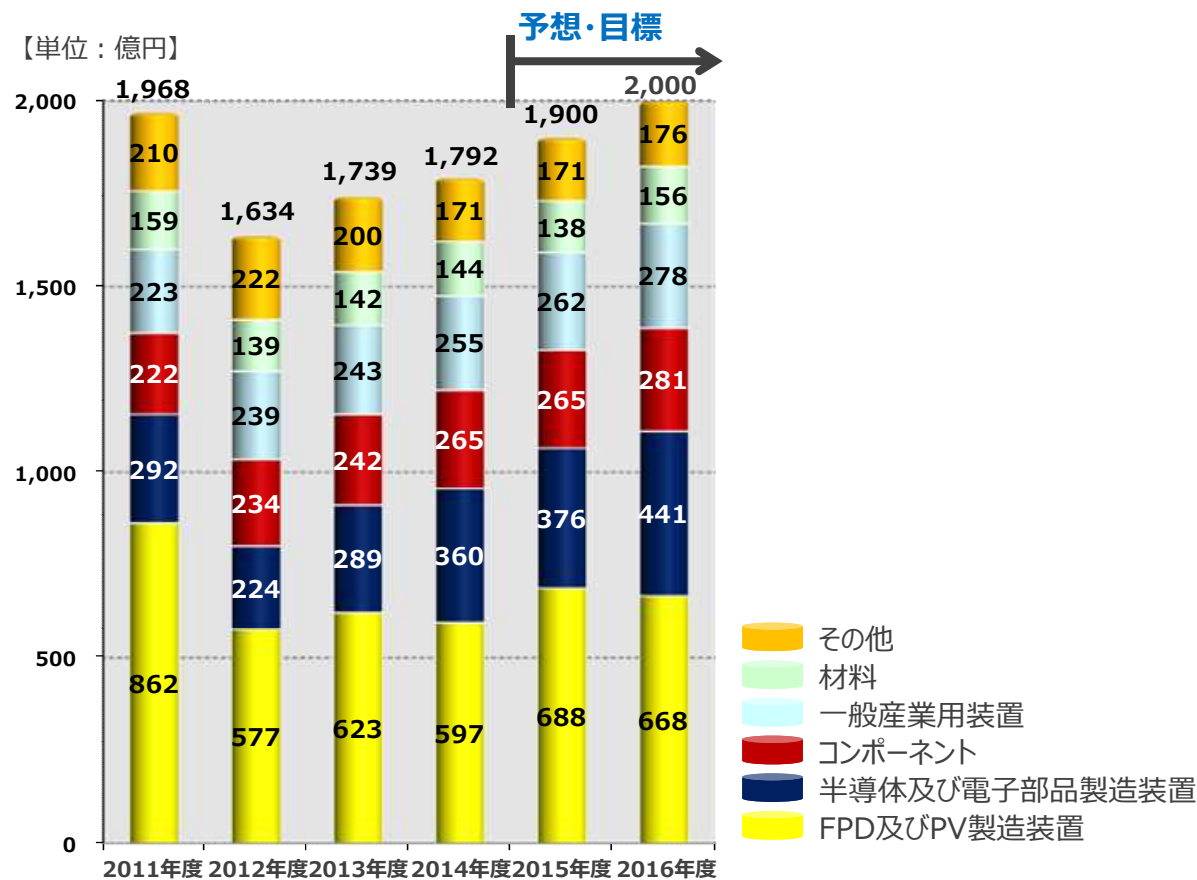
※ 2015年度・2016年度については、親会社株主に帰属する当期純利益

中期経営計画の進捗 (品目別売上高予想)

2014年度連結業績概要

2015年度連結業績予想

- 2015年度、2016年度の品目別内訳は市場動向を踏まえ見直し。
- 2016年度、半導体及び電子部品製造装置は高密度実装・パワー半導体・不揮発性メモリ等が伸び、2015年度比大幅増加。コンポーネント、一般産業用機器、材料も増加を見込む。一方、FPD及びPV製造装置は2015年度比微減。



事業構造改革プロジェクト今後の取組み

現中期経営計画の基本方針・事業領域に関する基本シナリオは堅持。

開発・営業・生産セクションの連携による製品競争力・収益力を高める活動を推進。

営業戦略プロジェクト：

- ・ 営業本部体制の強化
- ・ 新規技術で先行する世界の顧客とのパートナーシップを確立、市場開拓を進める

開発戦略プロジェクト：

- ・ 8つの重要領域に、IoTを支える「電子部品・MEMS」を追加
⇒ 9つの重要領域で開発を推進
- ・ 未来技術研究所を創設、新規領域開発も積極化

コスト管理強化プロジェクト：

- ・ フロントローディングの定着とグローバル展開
- ・ グループ生産の効率化を徹底

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました